

参考:パブコンに応募のあったユニークな提案(長官賞・優秀賞以外)

タイトル	提案の概要
○子供のスポーツ活動の促進に向けた提案	
こどもスポーツ委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各地区小学校高学年のクラス内でスポーツ委員を設置し、それらの委員を中心とし各地区代表(通学時班長等)をスポーツ係として構成する。</li> <li>○スポーツ委員は月1回打ち合わせで、その月各週に行う運動・スポーツの内容を決定しスポーツ係に伝え、各地区で実施してもらう。</li> </ul>
あそび庁発足事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ庁の中に「あそび庁」というシンボリックな事業を立ち上げ、子ども目線であそびの大切さを世に発信する。</li> <li>○あそび庁長官として子役タレントを任命し、SNSやYouTube等で「世界のあそびやおもしろスポーツ」等を発信。</li> </ul>
日本文化で子どもスポーツプロモーション 東京2020に向けて子どもの忍者修行	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校低学年の体育授業に忍者修行を取り入れる。歴史や役割などレクチャーし、簡易的衣装も準備する。修行として体育館にあるマットや平均台、跳び箱ポールロブ等を使って城へ忍び込むための壁越え、木登り、一本橋渡り、手裏剣のまねらいなどを行うことが可能。</li> <li>○忍者は外国人にも人気がある。子どもたちにより忍者を好きになってもらえる。ボルダリングや体操の選手衣装で演技するイベントを開催する。オリンピック開催国として日本をアピールできるイベントにもなる。</li> </ul>
○女性のスポーツ活動の促進に向けた提案	
バランスボールノリノリカラオケ で健康増進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国のカラオケボックスにおいて、各施設の1部屋を「バランスボールノリノリルーム」とし、4個のバランスボールを配置する。</li> <li>○特に女子高生、キャリアウーマン又はママ友の親睦の機会にカラオケとバランスボールを楽しんでもらう。</li> </ul>
スポーツインフルエンサー育成・ 展開事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各都道府県に1名づつ、女性のスポーツ活動のシンボルとして、インフルエンサーを育成する。</li> <li>○インフルエンサーが中心となり、女性スポーツ活動の普及・発信等を行う。</li> </ul>
鍛えるってカッコイイ! TOKYO GIRLS COLLECTION SPORTS Fes!!	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「東京ガールズコレクション」に代表されるガールズコレクションとコレボし、スポーツウェア及びスポーツ選手をモデルとして参加させた産官共同のFesを開催。</li> <li>○運動を盛んにしていることをアピールしているモデルにスポーツウェアを着用、アスリートモデルはスーツなど正装でスポーツとファッションの融合をさせつつ、スポーツへの興味関心を高め、普及を図る。</li> </ul>

<p><b>○駅、車両、スタジアム、カラオケボックス、商業施設などスポーツをする場所をポイントに活動内容を工夫した提案</b></p>	
『スポーツ・ステーション計画』	<p>○指定鉄道沿線（当初は関東近郊エリア中心）と連動し、スポーツを手軽に参加、楽しめる「ステーション施設」を設置。</p> <p>○その施設ではゲーム性のある競技種目も取り入れ・考案したりして参加を促す。新規種目の場合、その種目のアスリートや指導者を活用し、クオリティーの高い内容を提供も狙う。</p>
駅スポ	<p>駅に更衣室、ストレッチや休憩ができるスタジオ、健康相談所等を設置し、ウォーキングやスポーツツーリズムなど交流の拠点とする。</p>
スポーツ車両	<p>○電車で女性専用車両ならぬ、「スポーツ専用車両」を作ってみてはどうか。車両には座席は付けず、電車内で軽いエクササイズを行えるようにする。</p> <p>○インストラクターが同乗。モニターにはオリンピック選手達の紹介映像を流し続ける。移動時間をスポーツ時間に変換。</p>
アフターマッチファンクション	<p>スタジアムやアリーナで試合を観戦した後の会場で、その会場に居合わせた皆でスポーツを楽しむ。</p>
ビジネスパーソンよ、踊っちゃいなよ計画	<p>○17時以降のビジネスパーソンのカラオケボックス利用では部屋内の椅子を撤去し、椅子希望者は椅子代金がプラス。テーブルは壁に付いている折り畳み式、畳んだ場合はテーブルの裏面が鏡となる。ドリンクはグラスではなく割れにくい蓋つきのもの。床におくかフック付きで壁に掛ける。</p> <p>○カラオケ利用だけでなく持ち込みの音源、映像も利用可能にするための端末整備。（余興の練習等に対応）</p>
ちょっとだけスポーツ見本市	<p>○普段あまり触れる機会のないスポーツの関連団体が一堂に会して競技体験コーナーをご用意し、来場した方に実際に競技に触れてもらうという「スポーツの見本市」。</p> <p>○東京ビッグサイト等の大規模展示会場を利用し、週末の2日間、1500人程度を目標に設定。</p>
100歳になっても自分の脚で歩み続けようプロジェクト	<p>○高齢者が集まる場所である全国各地の地元にあるショッピングセンター（SC）等をコミュニティの中心の場にする。</p> <p>○五輪代表選手をはじめ、地域在住の各種スポーツ選手を迎え、運動指導者とコラボして、マイナースポーツの認識と手軽さ、面白さの体験、スポーツ選手と一緒に健康運動の実践などを実施し、運動を継続することのイメージアップに繋げる。</p> <p>○ロコモ体操やウォーキング指導など運動専門家が地域のコミュニティに定期的（1カ月1回位）行うことで、地元住民の交流が生まれ継続の手助けをする。その継続の中で住民からリーダーを育成し住民主導で活動する。</p>
200万人のテニスプレイヤー活性化 ～お母さんプレイヤー、学校へ行こう～	<p>○公立中学校・高校のテニスコートを開放する。利用者は「生徒の家族」と限定する。</p> <p>○利用時間は平日9：00から15：00程度。「一時間のみ」とブロック化し、利用できるのは「週一回まで」と限定する。</p> <p>○全国の学校共通で利用できるシンプルなWEB予約システムをセールスフォース社で安価開発し、全自治体に配布する。</p> <p>○利用料金として一人あたりワンコイン（500円）を設定し、予約システム上でクレジットカード決済として、現地で現金決済は行わない。各自治体は収益を学校のスポーツ施設整備に還元する。</p>

タイトル	提案の概要
<p>○スポーツ活動への助成等の支援方法を工夫した提案</p>	
<p>スポーツ費控除制度</p>	<p>現在の医療費控除制度を参考とし、スポーツをするための公共施設の利用について、利用料を所得から控除する制度。</p>
<p>エコ・ヘルスプロジェクト －地球も国民も健康に－</p>	<p>○各会社や企業にフィットネスバイクとランニングマシンを設置することを義務化する。 ○マシンには、運動することによってエネルギーを発電し、発電されたエネルギーを社内で使う電力に変換できるという構造を持たせる。 ○社内電力の一部を社員の運動によってまかない、浮いた電気代を「運動・スポーツ手当」として給与に還元することで社員は運動による経済的利益を受けられる。</p>
<p>2020日本のサラリーマン がカッコ良くなるプロジェクト</p>	<p>○サラリーマンの定期健診時に「活力年齢 (vital age)」を示す。 ○サラリーマンのスポーツ実施に対して健康保険組合が補助・助成する仕組みの構築。</p>
<p>ひと駅歩こう！</p>	<p>○雇用者は、自宅からひと駅先～勤務地までの通勤定期を購入した被雇用者に対し、自宅最寄駅から購入した場合の本来の定期代との差額を現金で支給。 ○また、推奨費として、プラスいくらかを支給。</p>
<p>ゲーム会社とコラボ！！ 美と健康を手に入れようプロジェクト</p>	<p>○国とゲーム会社がコラボしてスマートフォンアプリケーションゲームを開発する。 ○貯まったポイントは、流行の健康食品と交換、おすすめの食事内容と運動方法、ストレッチの紹介等。 ○登録者は全国ランキング化。地方行政とも連携し、お薦めイベントへの参加すると限定品がもらえる。</p>
<p>○ウォーキングマップを活用した活動で工夫した提案</p>	
<p>LET'S WALK AROUND JAPANESE TOWN! ～今すぐ始められる「ご当地ウォーキング」～</p>	<p>各都道府県（又は市町村）が区域別距離分をマスに置き換え、ご当地ウォーキングマップを作成し普及させる、「大人版ご当地ウォーキングマップ」を提案する。</p>
<p>WEBの上の「我が家の活動マップ」</p>	<p>○WEB上で地図情報を使いながら、子どもと一緒に簡単にウォーキングマップを作成できるポータルサイトを構築。 ○家族オリジナルの「活動マップ」を親子で一緒に作ることで、家族のコミュニケーションのきっかけを提供。 ○マップをもとに、まちの新たな魅力を発見しながら歩くことで無理のないウォーキングを実現。SNSへのシェアや、コンテストの実施により拡散。</p>

○マスコミ、SNS、イベント、キャンペーン等を活用した活動の提案	
マイナースポーツ支援プロジェクト	本プロジェクトで推進するマイナースポーツを7つ選択し、選択した各マイナースポーツ団体と協力して当該マイナースポーツをSNSを使用して、知識やメリット、イベント等の情報を配信する。
2020国民よ！全員「立ち上がれ」プロジェクト～目指せ！スポーツ庁長官～	○①国民全員に3年間「30秒間イス立ち座り測定」を実施。②国民の目標としてスポーツ庁長官の測定結果を示す「目指せ！スポーツ庁長官」を実施。 ○スポーツ庁長官、オリンピック代表選手又は著名人の運動動画を定時発信。
Let's障スポ～今日からあなたも体を動かそう～	○NHK教育テレビジョンと連携して、『Let's障スポ～あなたも障スポを始めてみませんか？～（仮称）』という番組を制作し、毎週、プライムタイムに放送する。 ○あわせて、他のコンテンツ（英会話や料理、園芸等）同様、参考テキストも作成・販売し、学びの見える化を図る。
Active Wednesday	○月に1度、「Active Wednesday」を設置し、会社や事業所などの組織ぐるみで「見るスポーツ」または「するスポーツ」を体験する。なお職場や個人の実情に応じ柔軟な取り組みも推奨する。 ○例えば、ホームゲームの開催に合わせ、パブリックビューイングを行うなど。自分の会社のチームの練習見学、スポーツ体験、自チームの選手による解説など。
恋トレ！～はじける@恋するスポーツエネルギー～	○トップアスリートの好成績の鍵となるトレーニングをシンプルにアレンジしシェア。 ○アスリート自身がコーチングしてくれるVR動画により、恋トレ！では憧れのトップアスリートから二人きりで直々の指導を受けることが可能に！ ○オプション（有料）により会話内容を増やしたり、登場アスリートのウェアや場面をカスタマイズ可能。着用ウェアや場面へのスポンサー契約による収入も確保。